

【創育クリエートメールマガジン vol.1】 [2020 年大学入試改革]

2018.1.12 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

さて、第 1 回は、戦後最大規模の教育改革とも言われている「2020 年大学入試改革」について、森上教育研究所ならではの視点で解説しています。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

11 月に行われた大学入学共通テストのプレテストは、来年にも 10 万人規模の実施を予定。問題の内容や構成の検証が進んでいます。

大学入試改革では、各大学の個別選抜においても様々な改革が行われます。今回の改革で、A0 入試は総合型選抜入試、推薦入試は学校推薦型選抜と、入試区分が見直されます。

一部で学力不問と指摘されていたこれらの入試は、出願書類のほか、各大学が実

施する評価方法または共通テストのうち、少なくともいずれか 1 つの活用が必須となります。総合型では、活動報告書や大学入学希望理由書、学修計画書等を積極的に活用。学校推薦型では、学校長からの推薦書の中で本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の 3 要素に関する評価を記載します。

一般選抜(一般入試)でも、主体性等を評価するため、筆記試験に加え、各大学のアドミッション・ポリシーに基づき、調査書や志願者本人が記載する資料等を積極的に活用。さらに(1)共通テストの積極的な活用(2)論理的な思考力、判断力、表現力等の評価に資する記述式問題の導入・充実(3)英語 4 技能の総合評価などが求められています。

学力の 3 要素を多面的・総合的に評価するための、調査書や提出書類の見直しも大きなポイントの 1 つです。現行調査書の「指導上参考となる諸事項」の欄を(1)各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴(2)行動の特徴や特技(3)部活動やボランティア活動、留学・海外経験(4)取得資格・検定(5)表彰・顕彰等の記録(6)その他、と項目ごとに分割し、より多様で具体的な内容が記載できるようにします。

また、推薦書において学力の 3 要素の評価に係る記載を必ず求め、活動報告等志願者本人が記載する資料等についても、大学は積極的な活用を求められます。

多数の志願者の評価を行うため、調査書等の情報をデジタル化する共通基盤となるのが 10 月に運用開始となった JAPAN e-Portfolio です。このシステムでは、学校の授業や行事、部活動等での学びや自身で取得した資格・検定、学校以

外の活動成果の記録を生徒自身がスマートフォンや学校・家庭のパソコンを利用して入力。高校の先生方も登録し、その内容を承認します。

文部科学省は 2019 年度入試からサイトのデータ活用を目指しています。現在、2018 年秋までに 20 万人程度の高校生の加入を見込み、全国約 50 の大学が導入を検討中です。

今後は、高校において(1)調査書記載内容を意識した課題研究等の教育活動への積極的な取組み(2)各大学のアドミッション・ポリシーの理解(3)e-Portfolio に対する理解の深化・活用が課題になると考えられます。

(執筆：森上教育研究所アソシエーツ 高橋 真実)

いかがでしたでしょうか？

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるよう努めて参りたいと思います。

なお、本メールマガジンですが、内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については末尾の E-mail アドレスよりご連絡をお願いいたします。

送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3

T E L . 03-5472-5772

create@soiku-c.co.jp